

日本経営工学会関西支部 平成19年度 第6回運営委員会議事録

日時：平成20年4月12日(土) 17:00～17:30

場所：ダイキン情報システム株式会社 会議室

参加者：18名

1. 議事録確認

- ・平成19年度 第5回運営委員会, 平成20年2月16日(土) 17:00～17:30開催

2. 理事会報告(能勢氏)

第29期 第4回理事会

- ・平成20年1月25日(金) 14:00～18:00 開催
於 日本大学経済学部3号館4F会議室
出席者：理事11名, 監事2名, 理事代理1名, オブザーバー1名, 事務局1名
- ・会員数(平成20年1月25日現在)
名誉会員27名, 正会員1,546名, 学生会員256名, 賛助会員31社32口。

<議決事項>

- 1) 第29期第3回理事会議事録・理事会だより報告(庶務)
庶務担当理事から資料に基づき報告があり, 原案が承認された。
- 2) 入退会に関する件について(会員)
会員担当理事より, 資料に基づき, 入退会に関する説明(19名入会, 退会11名, 結果:正会員5名増, 学生会員3名増)があった。また, 今期の復活会員に関して処理した経緯説明があった。
- 3) 春恒社契約見直しの件について(庶務)
庶務担当理事から資料に基づき, 春恒社から国際文献印刷社への移行計画案(経過および移行費用案)が提案され, 移行に伴う業務移行処理についての説明があり, 将来的な学会の事務業務の形も含めて, 議論した。試行期間は2年として, 暫定的に業務を精査する「事務担当」を置くこととし, 学会OB(前東海大 加藤貞夫氏)に依頼することになった。とりあえず2008年3月より移行を開始して, 2年間(暫定的に)国際文献印刷社へ提案された予算案で業務委託することになった。

<協議事項>

- 1) 会長メモ2 について(会長)
経営工学100年の記念行事についての具体的な行事予定と日程(2008-2011年)について提案され, 引き続き検討することになった。また, メイン行事が2010年秋開催予定の学会60周年企画である旨が伝えられた。
- 2) 春季大会の前日の記念行事について(副会長)
2008年5月9日開催の春季大会前日に行う予定の「経営工学100年周期記念行事」の概要と予算について提案され了承された。
- 3) IE協会との連携について(国際・渉外)
IE協会「IEレビュー(年6回発行)」と経営システム誌の目次交換することが実現される旨報告があり, 今後のIE協会との連携のあり方について提案がなされ了承された。
- 4) JIMA主催国際ワークショップ(WS)企画について(国際・渉外)
若手研究者や留学生に対してJIMA主催国際WSを開催する旨の企画提案がなされ了承された。
- 5) 日刊工業新聞社を通しての学会PRについて(国際・渉外)
日刊工業新聞社を通じたJIMAのPR企画(大会・シンポジウムの掲載, 「工場管理」との目次交換)について提案され了承された。
- 6) JIMAエリアエディタ制(案)について(編集)
学会論文誌エリアエディタ制導入に関しての提案の経緯と内容に関しての説明があった。具体的なエリア候補とエディタ候補者について提案をしてもらうよう依頼し, 引き続き検討する旨了承された。

7) JIMA 英文誌発行計画について (編集)

JIMA 英文誌発行を年 2 回 (年 6 号から 8 号発行へ) 追加し, 媒体を電子化するなどの効率化を図る検討を引き続き行うことで了承された。

8) JIMA 論文投稿区分変更案 (編集)

現在学会で規定している論文投稿区分を (4 区分から 2 区分へ) 変更したい旨の提案がなされ, 引き続き検討することが了承された。

9) 経営システム誌原稿料の件 (編集)

経営システム誌の原稿料を支払うことができないかという提案がなされたが, 予算の問題もあり, 引き続き検討する旨了承された。

10) 経営情報学会との目次交換の件 (編集)

IE レビューとの連携と同様, 経営情報学会普及誌と目次交換をする方向で実現に向け, さらに検討することになった。

11) 優秀学生賞対象学科の変更について (表彰)

資料に基づいて学科のリストアップと推薦依頼状況の報告があった。

12) メールマガジン (MG) 運用について (庶務)

メールマガジン開設準備に向けた経過報告および運用細則に関して報告があり了承された。

13) 平成 20 年度予算案について (財務)

平成 20 年度予算案に関して資料に基づいて提案がなされ了承された。

14) 内部留保の改善について (財務)

内部留保が超過している旨が報告され, 内部留保を有効に使用することを引き続き検討することになった。

15) 基金運用細則について (財務)

基金の取崩しに関して, 基金運用細則に基づいて対応方法を引き続き検討することになった。

16) 新公益法人への移行対応[文科省立入実地検査報告] (庶務)

文科省での説明会を受け新公益法人への移行対応について説明がなされ, 支部活動を含めた活動の予算策定時の公益性の算出等, 引き続き検討する旨了承された。

17) 公印取扱細則について (庶務)

文科省からの指摘を是正する必要性から, 会計細則との整合性を確認することを前提に了承された。

18) 名誉会員推戴の件 (会員)

豊田 武彦 氏を産業界との連携などの業績から名誉会員として推戴することが了承された。

<報告事項>

- 1) 横幹連合 2008 年役員候補依頼について (松井) (資料 4-15-1~2)
- 2) FMES シンポジウム第 1 回実行委員会議事録 (案) (玉木) (資料 4-16)
- 3) 支部委員会報告 (小樽商科大学) (石川) (資料 4-17)
- 4) 第 29 期第 4 回理事会大会委員会報告 (飯島) (資料 4-18)
- 5) 第 29 期第 4 回理事会国際・渉外委員会報告 (中島) (資料 4-19)
- 6) 掲載料・別刷代請求一覧 (曹) (資料 4-20)
- 7) 日本学術会議ニュース・メール No.103~No.113 (事務局) (資料 4-21)

第 29 期 第 5 回理事会

- ・平成 20 年 3 月 28 日(金) 14:00 ~ 18:00 開催
於 日本大学経済学部 3 号館 4F 会議室
- 出席者: 理事 11 名, 監事 2 名, 理事代理 1 名, オブザーバー 1 名, 事務局 1 名
- ・会員数 (平成 20 年 3 月 28 日 現在)
名誉会員 26 名, 正会員 1,496 名, 学生会員 205 名, 賛助会員 30 社 31 口。

<議決事項>

- 1) 第 29 期第 4 回理事会議事録・理事会だより報告 (庶務)

庶務担当理事から資料に基づき報告があり、原案が承認された。

- 2) 入退会に関する件について (会員)
会員担当理事より、資料に基づき、入退会に関する説明 (47 名入会, 退会 56 名, 除名 91 名, 結果 : 正会員 50 名減, 学生会員 50 名減) があった。
- 3) 会員規定の改定 (案) について (会員)
退会および休会の条件に関し、会員規定の改定が提案された。退会および休会に関する規定の文言については、再度検討することとなった。
- 4) 平成 19 年度 JIMA 各賞の選考プロセスと最終候補について (表彰)
学会賞・論文賞・論文奨励賞・経営システム賞・経営工学実践賞・優秀学生賞各賞の最終候補者が提案され、原案通り了承された。経営システム賞については、著者全員を表彰することとなった。
- 5) 基金運用細則 (案) について (財務)
学会の基金の運用に関し、細則 (案) の趣旨と文言について提案され承認された。基金運用細則提案に関連して経理細則の修正も行うことになった。
- 6) 事務所移転に伴う定款一部変更手続きの件および新事務局への移行手続きについて (庶務)
新事務局に伴う手続きについて報告があり、新事務局のサービスの切り替えを、4 月 1 日にすることが了解された。
- 7) (株) 国際文献印刷社との契約について (庶務)
新事務委託先となる (株) 国際文献印刷社との学会業務委託契約書が提案され了承された。
- 8) (株) 春恒社との契約について (庶務)
現事務委託先の (株) 春恒社との契約書および覚書 I・II が提案され了承された。

<協議事項>

- 1) 会長メモ 3 について (会長・副会長)
経営工学 100 年の周期記念行事・企画について、2008 年～2011 年に予定している記念行事・企画について提案され意見交換を行った。出版物 (「使える経営工学」シリーズ) 発刊について特別委員会で検討を始めることになった。
- 2) 創立 60 周年記念事業の準備について (副会長)
60 周年記念事業委員の候補が提案され、具体的な計画を次回の理事会に提案してもらうことになった。
- 3) 国際シンポジウム日程、協賛等について (国際・渉外)
2008 年 8 月開催予定の国際シンポジウムの概要が提案され、計画を微修正して実施することになった。
- 4) 平成 20 年度工学教育連合講演会共催並びに実行委員の推薦について (国際・渉外)
日本工学教育協会より、平成 20 年度工学教育連合講演会の共催および実行委員推薦の依頼があり、例年通り慣例に従って国際・渉外委員会を中心に人選を進めることになった。
- 5) 平成 20 年度予算案について (財務)
平成 20 年度予算案について資料に基づき説明された。1) 論文誌およびシステム誌の予算, 2) 60 周年および 100 周年事業費, 3) 研究部会補助金, の見直しを行うよう提案があり了解された。事務局変更に伴い、IEMS 事務業務について学会が継続するか否かについて、国際・渉外委員会に検討してもらうことになった。
- 6) 経営工学会論文誌 英文号発行計画 (案) について (論文誌)
英文号発行計画案について説明があり、了承された。
- 7) 経営工学会論文誌電子化計画 (案) について (論文誌)
電子化 (DVD 作成) については、60 周年記念事業と合わせて計画を推進することになった。
- 8) 経営システム誌「原稿料ないしそれに代わる措置」について (システム誌)
システム誌の記事の依頼が困難になってきており、原稿料ないしそれに代わる措置が提案された。予算との関連もあることから、次回以降再度検討することになった。
- 9) 経営システム誌「表彰論文についての記事掲載」について (システム誌)
表彰論文記事の掲載を論文誌から経営システム誌へ変更する案が提案され、継続審議することになった。
- 10) 経営システム誌「他の雑誌の目次互換基準」について (システム誌)

読者の反応 (IE レビューの目次掲載の反応) をみて、今後の目次互換の基準について検討することになった。

- 11) 経営システム誌「大会プログラム等の掲載」について (システム誌)
大会委員会と編集委員会で大会プログラムの掲載 (経営システム誌に掲載または折込) についてトラブルがないよう日程調整することになった。
- 12) 2007 年度大会委員会の決算について (大会)
収支がマイナスになったことから、改善案が提示され、今後検討していくことになった。

< 報告事項 >

- 1) 名誉会員木村達二先生ご逝去について (庶務)
- 2) 横幹連合 2008 年役員候補依頼について (会長)
- 3) 「経営工学 100 周年記念行事」のご案内について (副会長)
- 4) 平成 19 年度春季大会会計報告 (監事)
- 5) 平成 19 年度秋季研究大会会計報告 (大会)
- 6) 第 29 期第 5 回理事会国際・渉外委員会報告 (国際・渉外)
- 7) 掲載料・別刷代請求一覧 (論文誌)
- 8) レフェリー選定 (論文誌)
- 9) 論文採択率、査読期間データ公表 (論文誌)
- 10) 日本学術会議ニュース・メール No.114~No.119 (事務局)

理事会開催予定

- 第 6 回理事会 : 平成 20 年 4 月 29 日 (火) (株) 国際文献印刷社江戸川橋会議室
- 第 7 回理事会 : 平成 20 年 6 月 27 日 (金) 日大経済学部 3 号館 4F 会議室
- 第 8 回理事会 : 平成 20 年 9 月 18 日 (木) 日大経済学部 3 号館 4F 会議室
- 第 9 回理事会 : 平成 20 年 10 月 17 日 (金) 秋季研究大会校にて
(いずれも 14 : 00 ~ 19 : 00 開催予定)

3. 事例研究会報告 (河合 氏)

- ・平成 19 年度 第 3 回 事例研究会開催報告 出席者 24 名
日時 : 平成 20 年 4 月 12 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00
場所 : ダイキン情報システム株式会社 会議室
講演 I 「注目される『観光ビジネス』」
講演者 : 加藤ビジネスクリニック代表 加藤 弘治 氏
講演 II 「あきらめない風土作り」
講演者 : 株式会社大阪ツルヤ 代表取締役 高野 祥太郎 氏

4. 「イノベーションとマネジメント」研究部会報告 (能勢 氏)

- ・平成 19 年度 第 4 回 開催報告
日時 : 2008 年 2 月 23 日 (土) 15 : 30 ~ 18 : 30
場所 : 大阪工業大学 9 号館 3 階 環境工学演習室
テーマ : 「シャープにおける価値創造とイノベーション」
講師 : 谷 彰三 氏 (シャープ (株))
参加者 : 36 名

5. その他

- 1) 「関西支部優秀学生発表賞」について (長沢 氏)
長沢氏より、関西支部優秀学生発表賞 細則の修正案の説明があり、原案どおり承認された。6 月の総会後の運営委員会にて選考委員を選定する予定である。
- 2) 次年度役員などについて (溝口 氏)
事例研究会の新役員案として、主査 : 竹安 氏、副査 : 溝口 氏が提案され、承認された。なお、6 月の支部総会特別講演の講演者を溝口 氏とする旨が承認された。